



日本生活協同組合連合会

による「美しい森林づくり」に向けた取組



1970年代から始まった 「消費者参加型」の環境保全の取組

生活協同組合の環境保全の取組は、1970年代の水環境問題や「マイバッグ持参」運動でのレジ袋削減などから始まり、1990年代前後の地球環境問題への関心の高まりとともに広がりました。事業上の環境負荷の低減を進めるだけでなく、組合員が参加するリサイクル運動など、消費者参加型の取組が特徴です。マイバック持参によるレジ袋の削減は年間で約3億枚です。

木づかい・森林づくりなども含めた 幅広い森林・環境保全の取組

再生原料使用など環境に配慮したコープ商品（約300品目）の普及を図るとともに、対象商品の販売額1%を（社）国土緑化推進機構等に寄付するなどの「環

境キャンペーン」を実施しています。平成20年度は全国で1,000万人が参加する温暖化防止のキャンペーンなど、継続的な取組を続けています。

また、「国産材、使って減らそうCO₂『3.9グリーンスタイル』」対象商品の販売、各地での森林づくり活動、「安全・安心な住まいづくり」など食の地産地消と同じく木材も顔が見える関係を大切にしたい取組を進めています。

組合員だけでなく一般消費者へ広く訴えていきたい

今後も、全国約2,400万人もの組合員の方だけでなく一般消費者の方に、広く、ホームページや新聞等で、森林などの自然や環境の保全を訴えていきたいと考えています。『3.9グリーンスタイル』対象商品などは、これから広がっていく動きが確実に見えています。

【取組】全国展開

全国で『3.9グリーンスタイル』商品の利用拡大

日本生協連と全国各地の生協の「国産材、使って減らそうCO₂『3.9グリーンスタイル』」の主な商品には、高知県四万十川流域のヒノキの間伐材を活用した「まな板」などがあります。まな板は販売開始の平成16年度の約1,300枚が平成19年度には6,500枚と、確実に広がりを見せています。



▶ ヒノキのまな板／
『3.9グリーンスタイル』マーク

【取組】地域での展開など

広がる「こ～ぷの森」づくり

みやぎ生活協同組合を中心に、北海道・愛知県など各地で行われている森林づくり活動。みやぎ生活協同組合では平成4年から毎年、クリなどの広葉樹の植林活動、下刈りやツル切りなど、子ども達も参加する活動を行っています。開始当初の植林数2,420本から、平成18年度までに32,695本、約13.21ヘクタールの森になりました。



▶ みやぎ生活協同組合
「こ～ぷの森」づくり

日本生活協同組合連合会

略称:日本生協連。日本生協連は、生協の全国連合会で、全国の499の生協が加入しており、総組合員数は約2,400万人。